



2026年度 近畿・北陸地区 学術講演会



講師 船木 弘先生

2001年 日本大学松戸歯学部卒業
2005年 東京都足立区にて日比谷歯科医院開業
2020年 日本大学市内療法学講座学位取得・歯学博士
日本大学松戸歯学部歯内療法学講座非常勤講師

日本口腔インプラント学会専門医
公益社団法人日本歯科先端技術研究所指導医・理事
IPOI(近未来オステオインプラント学会)専門医・指導医
日本顎咬合学会認定医・指導医

インプラントを含む咬合再構成
～その基準と手技～

現在インプラントの咬合に関する統一見解は存在しないが、その予知性の高さから一般的な歯科治療の選択肢としてインプラントが広く浸透し、口腔内にインプラントと天然歯が共存することも多く口腔内の環境は複雑化している。そのためインプラント治療を手がける歯科医師は天然歯や少数歯インプラント治療における咬合だけでなく、インプラントと天然歯が混在するような複雑な咬合再構成にいたるまでの咬合についても理解しておくべきであろう。

そこで今回は咬合再構成が必要か否かの診断から、私のインプラントを応用した咬合再構成における咬合平面決定基準や下顎位決定方法、咬合器やフェイスボウトランスファの活用方法などを症例を供覧していただきながら解説し皆さまからの意見を伺いたい。

インプラント補綴における咬合のマネジメント
～1 歯欠損にインプラントを応用する意義～

インプラント治療は、埋入手術の成否によって評価されがちであるが、その本質は補綴主導型の診断と治療計画に基づき、欠損形態、残存歯の状態、咬合関係および清掃性を考慮した一口腔単位での環境整備にある。外科処置はその治療計画を実現するための一要素であり、補綴学的観点に立った適切な咬合付与と力学的に調和した口腔内環境の構築こそが、長期的な治療成績を左右する。今回、1歯欠損症例を通して、「咬合回復」と「欠損拡大の予防」という観点から、インプラント補綴における咬合付与の意義について改めて考察したい。



講師 吉野 晃先生

1997年 明海大学歯学部卒業
2001年 明海大学大学院歯学研究科卒業（歯学博士）

医療法人社団深敬会 吉野デンタルクリニック理事長
明海大学歯学部機能保存回復学講座保存学分野客員講師
日本大学歯学部感染症免疫学講座兼任講師
公社)日本口腔インプラント学会専門医、指導医
公社)日本歯科先端技術研究所認定医・指導医・専務理事
日本顎咬合学会認定医・指導医／日本レーザー歯学会認定医
IPOI学会専門医、指導医／OJ正会員

日時 2026年8月29日（土） 15：00～18：30

会場 エンビスタジャパン(株)大阪支店 ショールーム
大阪市中心区南本町1-8-14 JRE堺筋本町ビル1階
※「堺筋本町駅」徒歩1分 堺筋線④番出入口北へ30m/中央線⑬番

会費 無料 定員40名 対面講義とZOOM講義のハイブリッド方式で同時開催

お申込・お問合せ先
(公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区 TEL072-223-8776 FAX072-222-8447 (担当)村田

(公社)日本歯科先端技術研究所 近畿・北陸地区
2026年度 学術講演会 参加申込方法

下記必要事項をご記入の上、8月8日（土）までに、メールken_111murata@yahoo.co.jpにて申込をお願いします。メールのやり取りが可能な方、ZOOM環境が整っている方が対象です。

必要記入事項

①氏名 ②氏名カタカナ ③医院名 ④医院住所
⑤医院電話番号 ⑥連絡先電話番号 ⑦メールアドレス